

議会報告会を開催

明石市議会では、市民の意見を把握し議論や政策立案等に役立てるため、議会報告会を開催しています。常任委員会ごとにテーマを決めて、関係する団体と意見交換を行いました。

地域防災の取り組み

魚住、江井島、王子、山手校区
まちづくり協議会
東人丸町内会
中崎まちづくりの会
×
総務常任委員会

平成30年11月21日に、地域の団体の計10名と意見交換を行いました。

ドローン導入の効果

●今までは音声で情報共有を図っていたが、リアルタイムかつ視覚的に共有できるようになった。
●救急用コミュニケーション・ボード作成の効果
イラストを用いて、症状の把握や意思疎通ができ、素早い救急対応につながった。
●市内各地域の取り組み
毎年、防災訓練を行っている。また、発電機の購入など災害用機材の充実にも努めている。
●地域の祭りで防災の紙芝居や災害時の料理体験などの催しを行って



市総合防災訓練(江井島小学校)

●防災担当者を自治会ごとに置くようにした。
●30年1月に初めて防災避難訓練を行い、45世帯70人の参加があった。その際、避難所までの経路を3つ考えてもらうようにした。実際に地域を周り、危険な箇所を把握し、防災マップの作成に生かしている。
●さらなる安全・安心に向けて
●どこに避難所があるのか一目で分かるように看板を設置できないか。
●災害情報を知る手段として、屋外スピーカーやハンドマイクでの呼びかけに加えて自宅にも電話連絡が入るようできないか。
●空き家対策を充実してほしい。災害時に備えて、空き家の所有者確認を行っているが、連絡先の把握に苦労している。

明石の今後の保育

明石保育協会
×
文教厚生常任委員会

平成30年11月20日に、明石保育協会の10名と意見交換を行いました。

待機児童の解消に向けた取り組み

●受入枠拡充など対策は進むが、10年後、20年後の姿が見えない。少子化の進行も予想されており、議論すべき。
●子ども・子育て会議は廃止されたが、長期的な視点からの保育施策について、保育事業者の意見を聞く場も必要である。
●保育士の確保
優秀な保育士を確保するには、行政がもっと保育士の社会的地位を

●年齢により異なる子どもの発達に合わせた適切な保育ができるようにするには、理論と実践の両面から長い期間をかけて保育士を育成



きめ細やかな保育を

●大規模園の影響
待機児童の解消には大規模園も必要だが、一人一人へのきめ細やかな対応がないがしろにされないか、子どもの心が置き去りにされないか心配である。

動物愛護

愛護団体「動物と共生するまちづくりの会」
明石市獣医師会
東播開業獣医師会明石地区
明石ハウス自治会
西明石南町自治会
×
生活文化常任委員会

平成30年11月5日に、関係団体の計11名と意見交換を行いました。

地域猫活動

●この活動の目的は、あくまで地域猫を減らすための取り組みなので、行政や議会は今まで以上に市民へ広報・周知してほしい。
●地域猫の世話をしている人に対する理解が広まっていないと感じる。トラブルを避けるために、市が腕章やタスキを用意したり、地域住民への説明に同行したりしてほしい。
●小学校区単位で、猫の去勢・不妊手術を一齐に行うなど、モデル地域を作るのはどうか。
●地域猫がこの活動により実際に減っているという結果を、目に見える形で示すべきだ。
●あかし動物センター
子どもたちに動物愛護教育をする上で最適な



人も動物も暮らしやすく

モニターから見た道路・海岸

道路モニター
海岸モニター
×
建設企業常任委員会

平成30年11月21日に、道路・海岸モニター6名と意見交換を行いました。

道路や河川などの異常箇所をスマートフォンアプリで通報する取り組み



異常箇所を見つけたら通報を

●高齢者が多いモニターにとって、スマートフォンアプリでの通報は難しいが、若い人には適している。電話やFAXの通報と、アプリによる通報が併用できればよいと思う。
●アプリを使用することで、その場ですぐ通報することができ、写真も送ることができる。アプリの名称を親しみやすいものにすれば、若い人も通報してくれると考える。
●通報後の市の対応
道路の穴を発見し、通報したら、すぐに直してくれたが、その後の報告がない。補修が終われば通報者に報告を

●個人的な活動になるが、小学校の校長と話し合い、通学路が安全かどうか点検している。
●子どもたちが安全に通学できるよう、通学路にある横断歩道のグリーン舗装を進めてほしい。